

執行役員 / 九州会場長 兼 福岡会場長

新美 幸夫

Profile

1989年入社。名古屋会場の業務部電算課で出品票のデータ化業務に携わった後、R名古屋会場、静岡会場、九州会場、福岡会場で会場長を務める。地域に合わせた施策により、各会場の出品台数の増加に貢献する。2020年から九州会場長と福岡会場長を兼務し、2023年に執行役員就任。規模の異なる会場運営で培った経験を活かし、中長期戦略プロジェクトのメンバーとして人材育成計画に取り組んでいる。



「シェア50」の実現に向けて 人的資本の拡充に注力していきます。

**「職場環境改善プロジェクト」によって魅力ある職場環境を実現し、
優秀な人材の採用・定着につなげていきます。**

オートオークション事業の長期成長に向けた戦略プロジェクト「シェア50」を実行し目標を達成するためには、人的資本の拡充が重要な課題であると捉えています。そのため、課題を解消する施策の一つとして始動した「職場環境改善プロジェクト」では、従業員が主体となって会員の利便性向上、業務の効率化、職場環境の改善などに取り組み、プロジェクトを通じて人材育成の観点で成長機会の創出や能力活用によるやりがい創出を目指しています。人口減少により若年層の採用が難しい環境下で、USSの人材競争力を向上させることを大きな目的としています。今後、プロジェクト参加者から、従業員の成長や仕事のやりがいにつながる提案があがってくことに期待しています。参加者にとっては、課題について考えるとともに、新たな気づきを得る機会となっており、プロジェクトの運営を通じてマネジメント人材の育成にもつなげていきたいと考えています。

当社では新卒・中途採用によって毎年人材を確保していますが、離職者が一定程度出るため、労働環境の改善や人事制度の改革も優先して取り組むべき課題です。「シェア50」では、オートオークションの出品台数のシェア拡大を経営目標としており、出品台数が増加すると当然ながら検査台数も増加します。その結果、検査業務や出品車両のデータ入力業務が増え、時間外労働が増えるというジレンマが起こります。こうした状況を踏まえ、「ブレイクスループロジェクト（詳

細はP.23)」や業務効率化のための「DX推進(詳細はP.36)」では、ITを活用した検査業務効率化などの施策により、時間外労働の短縮に取り組んでいきます。これによって魅力ある職場環境を実現し、優秀な人材の採用と離職率の低下につなげ、人的資本の拡充を目指していきます。

また、全国に19か所あるオートオークション会場の相互連携がとれていないことも、市場シェア50%の実現に向けて解消すべき課題となっていました。そのため、「ブレイクスループロジェクト」の中で、主要会場が連携して新規会員の獲得を目指すプロジェクトや、会場間連携によって出品車両のデータ入力業務における負荷を平準化するプロジェクトを策定・実施しました。これらのプロジェクトでは、会場長をはじめ部門の管理職層、現場従業員が一丸となって取り組むことで一定の成果が得られており、今後も継続して実施していく方針です。

成果を創出している検査員研修制度や、女性活躍推進に引き続き取り組んでいきます。

2023年度から導入した新たな検査員研修制度では、すでに一定の成果が得られています。2023年4月から開始した検査員研修制度は、入社後すぐに短期間で当社独自の検査員資格制度の3級取得を目指すものです。検査員資格制度は4級から1級まであり、3級以上を取得しなければ現場で出品車両の評価点をつけることができません。従来、3級を取得するには入社後約3年かかっていましたが、短期間で集中的に研修を実施することにより早期戦力化を図っています。2024年度は17名が研修に参加し、2024年4月から11月までの8か月間で全員3級を取得することができました。2025年度は参加者7名で研修がスタートしており、少人数であることから内容の濃い研修をコンパクトに実施することで、7か月での3級取得を目指して進めています。

女性活躍推進については女性管理職3名が誕生し、女性管理職比率は3.9%となりました。今後も積極的な登用を進めるとともに、さまざまな施策によって女性活躍を後押ししていく方針です。オートオークション会場で毎週実施している管理職ミーティングに女性管理職候補を参加させる育成施策や、「職場環境改善プロジェクト」での取り組みなどを通じて、女性管理職比率を5%、さらには10%へと引き上げていきます。

今後、私自身が人材戦略において果たすべき役割は、「職場環境改善プロジェクト」や「ブレイクスループロジェクト」の管理・推進役の一人として、人的資本の拡充に向けた施策の立案・実行に注力していくことであると考えています。また、3つの会場を統括する会場長としての経験を積んできたからこそ、培ってきた会場運営のマネジメントノウハウを、他会場の会場長などに継承していくことにも注力していきます。

執行役員/
九州会場長 兼 福岡会場長

新美 幸夫